

奈良市国際交流 出前講座

令和6年度



奈良市国際交流出前講座とは…

奈良県内の大学や専門学校に在籍している留学生が、
奈良市内の小中学校を訪問し、自国の生活・食文化などを紹介します。

子どもたちが異文化に触れ、興味を持つことで、
国際交流が促進することを目的としています。

主催 奈良市国際交流協会 協賛  奈良ロータリークラブ
助成 『(公財) 中島記念国際交流財団助成』 (独) 日本学生支援機構留学生地域交流事業

ご挨拶

桜の花咲くころとなりましたが、会員の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度も多くの方々のご支援とご協力を賜り、無事に「奈良市国際交流出前講座」を実施することができました。市内で学ぶ留学生が講師となり、小中学校を訪問して行うこの取り組みは、地域の国際理解を深める重要な機会です。今年度は初めて私立小学校でも実施し、より多くの子どもたちに国際交流の楽しさを体験していただくことができました。

特に印象的だったのは、今年度3校で英語による授業を行ったことです。奈良市には世界各国から観光客が訪れますが、英語を学んでいる小中学生が外国人と直接コミュニケーションをとる機会は非常に限られています。そのため、留学生との交流は、子どもたちにとって貴重な体験となり、英語を使う楽しさや異文化理解の重要性を実感する良い機会となりました。

私たちの目指す国際交流は、単なる言語の習得にとどまらず、異なる文化や価値観を理解し、共感し合うことです。留学生との対話を通じて、子どもたちが自らの視野を広げ、将来のグローバル社会で活躍するための基盤を築くことができると信じています。

来年度も引き続き、この事業を実施するとともにさらなる充実を図ってまいります。会員の皆様と共に、この取り組みを育てていけることを心より願っております。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



奈良市国際交流協会
会長 河野 良文

奈良ロータリークラブの大きな目的の一つは社会に奉仕することです。特に次代を担う青少年の育成は奈良ロータリークラブが非常に力を入れて活動をしているものであり、その事業の一つとして、4年前から支援させていただいております。

本年度も、奈良市の10校の小中学校に、大学や専門学校の留学生を講師として派遣し、児童・生徒たちに世界各国の言葉や生活文化・留学生から見た日本の姿等について紹介してもらいました。その中で、若草中学校1年生への出前授業を見学し、マレーシア、ベトナム、スペインの3人の女子留学生の授業を参観致しました。

興味深かったのは、彼女たちがなぜ日本に興味を持ったかです。スペインの彼女は漢字が好きだった、ベトナムの学生は日本のアニメにはまったから、マレーシアの学生は日本のアイドルグループの大ファンで留学したという話でした。自分の趣味や好きなこと、そんな身近なところから他国の文化を知り留学までに至るということは、話を聞いていた子供たちにとっても身近なこととして捉えられたのではないかと思います。

世界中で様々な紛争が絶えない中、他国を知り、その人たちと直に交流をすることがいかに平和構築の上で大切かを日々思うこの頃です。この出前講座が子供たちにとって世界平和につながる有意義なものとなり、さらに発展されることを心より祈っております。



奈良ロータリークラブ
会長 朝廣 佳子

派遣先

奈良市立都跡中学校

(1年生/77名)

■実施日：令和6年9月6日 ■紹介国：中国 ■協力校：奈良大学

昨年に引き続き、奈良大学の趙雨鵬さんが中国の地理・歴史や文化などについて紹介してくれました。

都跡中学校教諭のコメント

生徒たちに、世界の文化や歴史に興味を持ってほしい、そして今回学んだことを基にこれからの学習において興味関心のあることを自ら進んで学び深めていってほしい、と思い応募しました。中国と日本の歴史などを紹介していただいた際に、本校の校区内にある平城京を例に出されて、改めてこの都跡地域が歴史と伝統にあふれた素晴らしい地域だと再認識する機会になったと思います。趙先生、2年連続で都跡中学校に来てくださり、貴重なお時間いただきまして本当にありがとうございました。

留学生のコメント



中国
趙雨鵬さん

昨年度に訪問した奈良市立都跡中学校から、再度の出前講座の依頼をいただき、驚いたと同時に、私の拙い講座を認めていただいたことにこの上ない喜びを感じました。生徒たちはとても活発で、講座実施前には事前勉強もしたと伺いました。生徒たちは満足してくれたかな？日本での留学生活の中で忘れられない思い出作りが出来ました。都跡中学校の先生方と生徒の皆さんに心より感謝いたします。ありがとうございました。



中国語のあいさつを教える趙雨鵬さん

■実施日：令和6年12月12日 ■紹介国：モンゴル ■協力校：奈良大学

奈良大学のアリウンボルド アヌージンさんがモンゴル文化について英語で紹介してくれました。

都跡中学校教諭のコメント

外国の方からお話を聞くことは、子どもたちにとって貴重な機会になりました。さらに今回は、英語の授業の中で、英語で異文化を紹介してもらいました。なかなか目にすることや聞くことのないモンゴルの話で、生徒にとっては新鮮さもあり、関心を持つきっかけを作れたと思います。次回は、ゲームなど、実際に異文化を体験するプログラムがあればいいと思います。当日に向けて事前に練習してくださったアヌージンさんの熱心さも伝わりました。ありがとうございました。次回もよろしくお願いします。

留学生のコメント



モンゴル
アヌージンさん

最初は、英語での説明に対する生徒たちの反応が不安でしたが、熱心に耳を傾け、積極的に質問してくれたことに驚きました。生徒たちは英語でのやり取りに楽しさを見出し、積極的に参加してくれました。この経験を通じて英語を学ぶことが単なる学問にとどまらず、英語が国際的なコミュニケーション手段であること、そして英語を使うことに対して自信を持っていただけたらと思います。今後も、英語を学ぶ楽しさや実用性を伝える機会を増やしていきたいと感じました。



モンゴル講座の様子

派遣先

奈良市立ならやま小学校

(6年生/66名)

■実施日：令和6年11月26日 ■紹介国：スリランカ・バングラデシュ

■協力校：奈良総合ビジネス専門学校

奈良総合ビジネス専門学校のデヴェンドラ ヴィシュミ アワンカ ペレラさんがスリランカについて、ホセソ サザドさんがバングラデシュについて、英語で紹介をしてくれました。

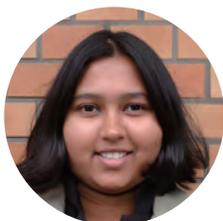
ならやま小学校教諭のコメント

「授業でどのようなことをしたいか」というアンケートに多くの児童が「実際に外国の人と話してみたい」と回答したことから、「The International Day」を開催することになりました。お二人の留学生には、やさしい英語で自国について紹介していただきました。写真やお二人の雰囲気から理解しようとしている子どもたちの姿が印象的でした。

6年生からも『奈良をより知ってもらおう』とプレゼンを準備しました。プレゼンの際には目的意識をしっかりと持って、これまで以上に表情豊かに目を合わせ、ジェスチャーも加えながらプレゼンすることができました。

授業後の児童の感想の中に「本場の人の話を聞いたのでとても良かったです。私も自分の国を外国の方にもっと紹介できたら良いなと思いました。」というものがありました。今回の講座は、外国の方と会話し、自分の話が伝わったことを実感できた児童にとっては大きな自信となり、今後のモチベーションにも繋がる機会となりました。

留学生のコメント



スリランカ
ヴィシュミさん

子どもたちはとても才能があり、私の話をよく聞いてくれました。私の国のことを教えることができ、とても嬉しかったです。子どもたちの好奇心や興味に私自身も引き込まれました。子どもたちと一緒に仕事をするのはとても楽しく、思い出に残る経験でした。私の将来の希望は、日本で教師になることです。その第一歩として、自分の国のことを教えることができ、とても良かったと思います。



バングラデシュ
サザドさん

2024年11月26日は、私の人生で最高の日、素晴らしい経験でした。日本に来て、母国を代表してならやま小学校での講座に参加できたことを誇りに思います。学校はとても大きく、児童や先生方のホスピタリティにも深く感銘を受けました。先生方も児童たちも非常に誠実に、好奇心と関心をもって私の話を聞いてくれました。バングラデシュ国民として、日本の児童に自国の文化を紹介できたことを幸運に感じています。



サザドさんのバングラデシュ講座

派遣先

奈良市立春日中学校

(1年生/140名)

■実施日：令和6年12月5日 ■紹介国：スリランカ・バングラデシュ・ベトナム・ミャンマー
■協力校：奈良総合ビジネス専門学校

奈良総合ビジネス専門学校のセーナーディラケ スムドゥ ニツァディさんがスリランカについて、エムディ ソライマンさんがバングラデシュについて、ライ ニュー クインさんがベトナムについて、プイン ナディ モーさんがミャンマーについて紹介をしてくれました。

春日中学校教諭のコメント

生徒たちにとって、外国の生活や食文化を知ることができ、とても充実した時間になりました。日本と外国の似ている点や異なっている点に気づき、異国の生活や文化を考えるきっかけになりました。授業では、動画や写真で出身国のことを紹介してくださったり、紙幣やスポーツを例に日本と出身国の違いに触れたり、さまざまな視点から異国について知る時間になりました。積極的に質問する生徒たちを見て、異国への興味・関心が湧いたのだと感じました。

留学生のコメント



スリランカ
スムドゥさん

生徒たちはとてもフレンドリーで熱心に私のプレゼンテーションを聞いてくれました。また、生徒たちと一緒に足し算を使ったアクティビティも行い、とても成功したと思います。

これは私にとって新しい経験で、とても楽しかったです。



ベトナム
クインさん

生徒たちは私の国の文化に非常に興味を示してくれました。印象に残ったのは、交流を終えた後、生徒たちと先生がベトナム語で「ありがとう」と言ってくれたことです。この美しい思い出は永遠に忘れられないものとなりました。



バングラデシュ
ソライマンさん

生徒たちはバングラデシュの伝統衣装や食べ物、祭り、宗教などに関するパワーポイント資料を熱心に見て、興味を示してくれました。文化交流は素晴らしい経験であり、バングラデシュの魅力を彼らと共有できたことを嬉しく思います。



ミャンマー
プインさん

私の国の文化についてお話しする機会をいただき、うれしく思います。生徒たちが興味を持ってくれたので、とても嬉しかったです。ミャンマーと日本の異なる文化を知ることができて、とても充実した時間でした。



バングラデシュ講座



ミャンマー講座

■実施日：令和6年12月6日 ■紹介国：ベトナム・スペイン・マレーシア

■協力校：奈良女子大学

奈良女子大学のバザン シンコ（波山慎子）さんがスペインについて、チャン フォン チャムさんがベトナムについて、アニス アミラ ビンティ アーマッドさんがマレーシアについて紹介してくれました。

若草中学校教諭のコメント

それぞれの国の文化や生活について、また、留学生の方自身のことなどパワーポイントを使いながら、生徒たちにもわかりやすくお話をさせていただきました。直接お話を聞くことで、生徒たち自身で調べるだけではわからないことも多く知ることができました。他国の文化を知ること、自分の国や地域の文化を改めて知る機会にもなり、大変多くの学びがあったと感じます。貴重な機会をいただきありがとうございました。

留学生のコメント



スペイン
バザン シンコ
(波山慎子) さん

生徒たちは非常に礼儀正しく、教室まで案内してくれました。教室に入ると、スペイン語で歓迎され、とても嬉しく感じました。私の文化について熱心に話を聞いてくれる姿勢には心から感謝しています。中学生の時期に外国人と直接交流する機会があるのは非常に素晴らしく、将来にとっても大変貴重な経験になると思います。



スペイン講座



ベトナム
チャン フォン チャムさん

「テト（ベトナムの正月）」について紹介しました。私の発表に対して、生徒たちが積極的に反応してくれたり、メモを取ったり、様々な質問をしてくれたりしたことが本当にうれしかったです。終了後には、生徒たちから手紙をいただき、逆に多くの面白いことを教えてもらい、とても勉強になりました。この体験は一生忘れられない思い出になりました。



ベトナム講座



マレーシア
アニスさん

生徒たちはとても元気で、可愛らしかったです。私の話を興味津々で聞いてくれて、マレーシアの手遊びを一緒にした時も、全員が積極的に参加してくれたので、本当に嬉しかったです。マレーシアについてよく知らない日本の若者が多いと、以前から感じていましたが、この体験を通じて、日本の子どもたちがマレーシアを知るきっかけになったかもしれないと思うと、この機会に心から感謝しています。



マレーシア講座で手遊びを体験する生徒たち

■実施日：令和6年12月11日・20日 ■紹介国：インドネシア ■協力校：奈良教育大学

奈良教育大学のノヴィ プラチウィ レスタリさんがインドネシアについて紹介してくれました。

青和小学校教諭のコメント

昨年度のスリランカ講座・ミャンマー講座に引き続き、今年度はインドネシアの講師の方に3、4、5年生を対象にお話をさせていただきました。日本に留学に来られた講師の方々は、とても勉強熱心で、日本語も驚くほど流暢でした。子どもたちにとっては留学生から直接、外国の文化についてお話を聞くまたとない機会ですし、留学生の講師の方々にとっても、日本語を使用して、自国の文化を海外の小学生に話すという貴重な経験になり、お互いにwin-winの関係が得られることが、この事業の素晴らしい点です。留学生の先生は、特に今回はインドネシアで中学校の英語の先生ということもあり、子どもたちを惹きつけながら、英語も少し交えてお話くださいました。外国の方と直接コミュニケーションをとることができ、子どもたちにとっては素晴らしい体験でした。目を輝かせて外国の先生との触れ合いを楽しむ子どもたちの姿を見て、この事業が、異文化への理解を深めるきっかけになっていると確信しています。

留学生のコメント



インドネシア
ノヴィさん

プレゼンテーションを準備してはいたものの、子どもたちに会うまでは緊張していました。インドネシアの文化について紹介する私の話を、子どもたちがとても熱心に聞いてくれて、異なる文化を学ぶことに興味があるようでした。文化だけでなく、インドネシア語やお金や世界遺産や食べ物についても紹介しました。子どもたちにインドネシア語を一緒に発音してもらおうと、とても上手でした。とても嬉しかったです。また、インドネシア料理についても動画を見ながら、一つか二つの料理を覚えていました。最後に、子どもたちからたくさんの質問があったので、ちょっとびっくりしました。たくさん質問を受けたことはとても良い経験で、決して忘れられないものになりました。ありがとうございました。



ノヴィさんからの質問に答える児童



クイズ形式でインドネシアの地理を教えてくださいました。



ノヴィさんの質問に皆が手を挙げて答えようとしています。

■実施日：令和7年1月9日 ■紹介国：モンゴル・インドネシア・ネパール・バングラデシュ
 ■協力校：奈良大学・奈良総合ビジネス専門学校

奈良大学のアリウンボルド アヌージンさんがモンゴルについて、奈良総合ビジネス専門学校のル ネタ ハルディニアさんがインドネシアについて、チャウダリ ドゥルゲシュさんがネパールについて、カン エム ディ アビド ホセンさんがバングラデシュについて紹介をしてくださいました。

京西中学校教諭のコメント

生徒たちの興味・関心を惹きつけるスライドを作っていたいただき、教師側も新しい学びがあった一時間でした。今回は生徒たちが交流をする国について事前学習をしました。当日は講師の話聞き、自分たちが調べたことを確かめることができたり、より詳しく知ることができたりと、生徒たちの学びが深まっていたように感じました。また、事後学習においても、生徒たちは新たに学んだことをしっかりとまとめており、本当に有意義な国際交流であったと実感しています。

留学生のコメント



モンゴル
アヌージンさん

生徒の皆さんはもちろん、先生方も興味を持ってたくさん質問してくださいました。とても楽しかったです。限られた時間でしたが、みなさんにモンゴル文化に少しでも魅力感じていただければ、また日本人として日本文化を海外に広めたいと思っています。



インドネシア
ネタさん

日本の中学校でインドネシアのことを伝え、生徒たちに挨拶することができ、素晴らしい経験でした。生徒たちは私の話を聞いて丁寧にメモしたり、質問してくれたり、授業が終わった後もインドネシア語で挨拶してくれました。とても嬉しかったです。



ネパール
ドゥルゲシュさん

とても素晴らしい経験でした。先生方は親切に助けてくださいました。私は自分の国についてプレゼンテーションをしましたが、プレゼンテーションはとても楽しかったです。生徒たちが興味を持ってくれ、とても嬉しく思いました。



バングラデシュ
アビドさん

忘れられない経験となりました。興奮と緊張の両方を感じましたが、生徒たちの好奇心と熱意を見て、すべてが報われたと感じました。生徒たちは素晴らしい質問をしてくれて、私は母国の文化や伝統、日常生活について話を共有できて嬉しかったです。文化交流を通じて彼らとつながることができ、とても素晴らしい体験でした。



ネパール講座



インドネシア講座

■実施日：令和7年1月16日 ■紹介国：スペイン ■協力校：奈良女子大学

奈良女子大学のバザンシンコ（波山慎子）さんがスペインのカタルーニャ地方の文化を紹介してくれました。

伏見小学校教諭のコメント

今回はバザンシンコ（波山慎子）さんの出身地であるスペイン・カタルーニャ地方の文化や生活について紹介していただきました。バザン（波山）さんの流暢な日本語の説明もわかりやすく、子どもたちもしっかりと耳を傾け、授業に参加していました。

子どもたちの中には、日本とカタルーニャ地方との文化の違いに驚いている子もあり、バザン（波山）さんの話に、興味深く聞き入る様子が見られました。

特に反響が大きかったのは、クリスマスに関する文化の違いで、スペインのカタルーニャ地方では、「カガティオ」と呼ばれる丸太を叩くとプレゼントが出てくるという話で、カガティオの日本語訳や日本との違いに驚いていました。

話が終わると、個人的に質問する子もいたり、折り紙で作ったものをプレゼントしたり、自分からバザン（波山）さんに歩み寄る子も多くいました。

スペインについて「知りたい」「行ってみたい」という思いを持つことができた貴重な時間となりました。

留学生のコメント



スペイン
バザンシンコ
(波山慎子)さん

私は普段、小学生と接することはほとんどありません。ましてや日本の小学校に足を踏み入れるのは初めてだったので、校内の雰囲気や子どもたちの様子はとても新鮮でした。

6年生の皆さんは私の話す内容にとっても興味を持ってくれて、発表中にもたくさん手を挙げて質問をしてくれました。私の国の言葉や食べ物、学校生活の様子など、どれも真剣に聞いてくれたのがとても印象的でした。小学生の時期に外国人と直接触れ合う経験は、将来にとって大きな財産になるのではないのでしょうか。今回の機会を通じて、私自身も新たな刺激を受けることができ、本当に貴重な体験となりました。



地図で日本とスペインの大きさを比較



生徒たちからたくさんの質問が出ました。



叩くとクリスマス
プレゼントが出て
くるカガティオ



スペイン語とカタルーニャ語のあいさつを教えてくださいました。

■実施日：令和7年1月17日 ■紹介国：中国 ■協力校：奈良教育大学

奈良教育大学の成佳文さんが中国西安市のグルメについて紹介してくれました。

興東小学校教諭のコメント

留学生の方に、中国の文化や伝統的な料理について話をさせていただいて、子どもたちはとても興味を持って話を聞いていました。「美味しそう。」という反応や「食べてみたい。」という反応が見られました。質問コーナーでは、留学生の方に日本に来て驚いたことや、好きなアニメについて答えてもらうなど、子どもたちにとって有意義な時間となりました。

今回、国際交流出前講座を申し込んだ背景には、子どもたちに、中国の人に対するイメージと実際に会った人のイメージを照らし合わせてもらいたかったからです。留学生の方は、中国の西安市から来られました。奈良市と西安市は、友好都市となって50年を超える関係となっています。しかし、最近のメディアや報道では、中国の人の観光のマナーの悪さを伝えるようなニュースが多く、あまり良い印象を持つことができません。

今回の交流を通して、子どもたちには、中国の文化について興味を持ってもらうことができ良かったと思います。また、留学生の方の人柄に触れることで、中国の人に対する認識を高めてもらうことができたと思います。これからも子どもたちには、色々な外国の人と交流を通して、より広い視野を持ってもらいたいと思います。

留学生のコメント



中国
成佳文さん

国際交流出前講座に参加し、西安の美食について紹介しました。初めての経験だったので少し緊張しましたが、子どもたちの明るい笑顔や積極的な姿勢のおかげで、次第にリラックスして楽しむことができました。

今回のテーマは「西安の美食」で、肉夹馍（ロージャーモ）やビャンビャン麺、涼皮（リャンピー）、羊肉泡馍（ヤンローパオモ）といった地元の名物を紹介しました。「ビャンビャン麺」のビャンという漢字の難しさを説明すると、子どもたちは目を輝かせて驚いていました。また、子どもたちが笑顔でうなずく姿が印象的でした。子どもたちはとても積極的で、「どれが一番おいしいの？」などたくさん質問してくれました。西安の



ビャンビャン麺のビャンという漢字を説明する成さん

美食を通じて、中国文化の魅力を伝えられ、とても充実した時間でした。



5・6年生合わせて6人の複式学級



児童たちは興味深そうに成先生の話聞いていました。

派遣先

奈良育英グローバル小学校

(4年生/18名)

■実施日：令和7年1月21日 ■紹介国：モンゴル ■協力校：奈良大学

奈良大学のアリウンボルドアヌージンさんがモンゴルの文化を紹介してくれました。

奈良育英グローバル小学校教諭のコメント

社会科の授業でモンゴルのアヌさんに来ていただきました。2年生の国語教材「スーホの白い馬」のお話がモンゴルの物語をもとにしていることは知っていても、モンゴルの方にお会いするのは初めてのことで、皆楽しみにしていました。アヌさんはたくさんの写真を使って4年生にもわかりやすいように丁寧に説明してくださり、児童たちは身をのり出して聞いていました。モンゴルの自然や住居、食事のことやお正月の風習等の知らない国の文化にふれて子どもたちの世界が広がりました。45分の授業の終わりには全員が「モンゴルに行ってみたい」「一緒に遊びたい」「一緒に折り紙したい」「日本の遊びを教えてください」等交流を深めていきたいとの意欲を見せていました。子どもたちに新しい世界を教えてくださいましたこと、そして日本の文化を愛して学びに来ている人がいることを教えていただいたこと、ありがとうございました。

留学生のコメント



モンゴル
アヌージンさん

奈良育英グローバル小学校のみなさん、歓迎していただきありがとうございました。

今回は初めての小学校での出前講座でした。子どもたちに自分の日本語がわかってもらえるか少し心配でした。でも、児童たちは数多くの外国交流の経験があり、たくさんの質問

をととても積極的にしてくれました。児童の皆さんが成長して海外に行く機会には、日本人として自国の文化を広める事ができるだろうと思いました。モンゴル人に会うのは初めてという児童たちに、とても楽しく母国の文化を紹介することができました。ありがとうございました。



児童たちは積極的にたくさんの質問をしてくれました。



児童からアヌージンさんへの
メッセージ1



児童からアヌージンさんへの
メッセージ2



アヌージンさんの話を身をのり出して聞き入る児童たち

派遣先

奈良市立一条高校附属中学校

(1年生/80名)

- 実施日：令和7年1月27日
- 紹介国：スリランカ・バングラデシュ・ミャンマー・インドネシア
- 協力校：奈良総合ビジネス専門学校

奈良総合ビジネス専門学校の8名が一条高校附属中学校で開催されたEnglish dayに参加し、英語で出身国の文化について紹介しました。

一条高校附属中学校教諭のコメント

留学生の方々には、今年も中学1年生のEnglish Dayにご参加いただき、自国の美しい自然や文化、学校生活の様子などを紹介していただきました。中学生も本校や奈良について英語で紹介し、伝えることの難しさや、伝えることの面白さを体験できる貴重な機会となりました

留学生のコメント



スリランカ
ヴィシュミさん

生徒たちはしっかりと耳を傾けてくれました。彼らは才能があります。自分の国のことを教えることができ、本当に良かったと思います。



スリランカ
ディルジャン タヌジャさん

とても気分が良く、生徒たちと楽しい時間を過ごしました。生徒も先生もとてもフレンドリーで親切だったので、恥ずかしがらずに彼らのために全力を尽くしました。



バングラデシュ
メヒデさん

まず、楽しいゲームをしました。その後グループに分かれて、バングラデシュの文化について発表を行いました。私の人生における貴重な経験の一つでした。とても幸せでした。



バングラデシュ
アサドゥツザマンさん

とても良い機会を得たので、できる限り説明しようと努めました。英語で話したり、クイズをしたり、とても楽しい時間を過ごしました。生徒たちからたくさんの愛をもらいました。



バングラデシュ
サザドさん

まず、英語のアルファベットゲームを行い、次にグループに分かれて発表を行いました。私の発表が終わった後、中学生たちが発表を行いました。私にとって素晴らしい体験となり、多くのことを学ぶことができました。



バングラデシュ
タムジドさん

とても素晴らしい経験でした。温かく迎えてくれてありがとう。私は生徒たちに感銘を受けました。彼らの英語は本当に上手で、一生懸命頑張っていることを強く感じました。



ミャンマー
ヌエーさん

生徒たちも私に奈良の有名な場所や食べ物を紹介してくれました。頑張って英語を練習する子どもたちの努力を見ましたし、先生たちのサポートも本当に素晴らしかったです。



インドネシア
ネタさん

生徒たちにインドネシアについて話すことができ、とても楽しかったです。生徒たちは熱心に英語を学んでいました。とても楽しく、思い出に残る経験となりました。



全員でアルファベットゲームをしている様子